

MDASH-Lite 令和 2 年度 自己点検評価書

東日本国際大学 高等教育研究開発センター
東日本国際大学 MDASH-Lite ワーキンググループ
(大学協議会提出)

1. 概要

本報告書は東日本国際大学における「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム (リテラシーレベル)」の教育プログラムである MDASH-Lite について、令和 2 年度の実行状況について自己点検を行ったものである。

全体として、順調に 1 年目はスタートしているが、高度科目について内容の微修正を行った。

2. MDASH-Lite について

本学における情報教育関連教員、実データ分析に関係する教員によるワーキンググループ (MDASH-Lite ワーキンググループ) が、「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム (リテラシーレベル)」のモデルカリキュラムを参考にし、構成した教育プログラムであり、令和 2 年度より教育プログラムとして運用を開始している (具体的な構成については、別添の各プログラムページを参照のこと)。

3. 令和 2 年度の状況について

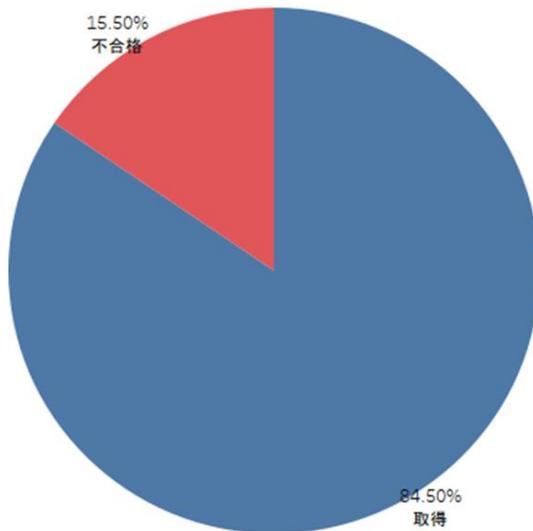
本学全体のアセスメントポリシーと各学部のアセスメントポリシーに基づいて、点検を行った。

観点	状況
シラバスにおける授業設計 (DP と各授業の学修成果の関連、アクティブラーニング等の導入具合、学修成果と評価基準等のアラインメントの適切さ等)	教務委員会でのチェックにより、アクティブラーニングの導入具合や、DP と授業の学修成果との関連、学修成果と評価基準とのアラインメント等、一部について修正依頼の末、すべての科目において問題のないことが確認された。
プログラムとしての学修成果目標と各授業の学修成果とのアラインメント	MDASH-Lite ワーキンググループのチェックにより、目標を調整した結果、適切に設計されていることが確認された。
履修状況等	令和 2 年度の履修状況について、登録状況、単位の取得

	<p>状況の確認を行った（なお本年度はプログラム1年目にあたるため、学年を追っての科目間の接続状況については十分には検証できていない）。履修者の数については、選択科目の一部科目でさらにプロモーションが必要であるもののおおむね順調であること、単位取得状況については、以下の別表を参照されたいが、一部科目において、難度が高いことから、履修の順序について若干の改善の余地がある。</p>
--	--

経済経営学部プログラム履修状況

経済経営学部履修状況



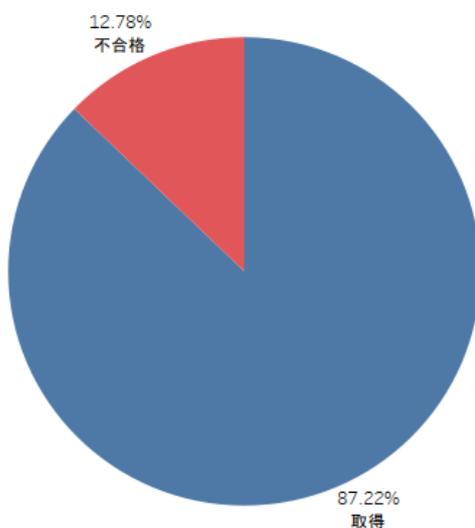
経済経営学部における履修者の単位取得状況は左の通りである。15.5%の不合格者が出ている（来年度以降に再履修可能）。

これは特に「統計」科目での不合格者の割合が多いことが影響しており、「数的処理」科目との科目間関係について整理が必要だと考えられる。

成績分布に関しても同様の傾向であるが、1年春の必修科目についてはSが多いことから、秋以降の学生の意欲維持と授業内容の接続の両方の点について、一定の対策が必要だと考えられる。

健康福祉学部プログラム履修状況

健康福祉学部履修状況



健康福祉学部における履修者の単位取得状況は左の通りである。約12.8%の不合格者が出ている（来年度以降に再履修可能）。

経済経営学部と同様に、春学期科目よりも秋学期科目での不合格者数が多いことが確認されるため、秋以降の学生の意欲維持と内容接続の両方の点について、一定の対策が必要だと考えられる。

4. 来年度以降への改善点と展望

上記の点に基づいて、「統計」科目については科目内容の再調整を行った。また成績分布に関しては、結果について教員間で共有し、評価と科目内容の両方の観点から再検討を行うこととした。

また、学生への履修案内について、一部選択科目について健康福祉学部の履修者が少ないことから、さらに誘導を行なっていく必要がある。

なお学生の授業評価アンケートについては、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で授業スタイル等の変更があり、連続したデータが取れていないことから、次年度以降との比較で再評価を実施することとする。

加えて、項目ごとの修得状況については、各科目の履修が広がる次年度以降に検討する必要があるため、令和3年度修了時点で、各項目の実際の履修修得状況についての評価を実施する。